



人権教育シリーズ 36

市では人権教育の推進のため、さまざまな活動や啓発に取り組んでいます。ここでは、取り組みの内容や情報を定期的にお知らせしていきます。

合志小学校の取り組み

みんなを幸せにし、くらしを豊かにする人権教育
子どもたちの夢をかなえる
基盤として

合志小学校は、「夢をかなえる」目標に向かって努力を続ける子ども「育成」を学校教育目標に掲げ、地域と職員一体となって取り組みを進めています。

子どもたちが夢の実現に向かって進むためには、安心して楽しく過ごし学べる学校でなければなりません。

そのために

も、一人一人が大事にされ、一人一人を大事にする人権教育を学校教育活動の基盤にしています。

人権教育とは、差別やいじめなどをなくし、人と人が理解し合い、尊敬し合う教育



県人権子ども集会に参加して

昨年10月、パルクドーム熊本で開催された部落差別をはじめあらゆる差別をなくす県人権子ども集会で、6年生が活動報告をしました。

合志小学校の人権スローガンを、「相手の気持ちを考えて、友だちを大切にし、自ら行動できる合志小」と掲げ、差別のない明るい学校を目指した取り組みの一部を紹介しました。

- ①合志小学校の紹介
- ②合志小学校の取り組み
- ③水俣学習を通して考えたこと
- ④菊池恵楓園学習を通して考えたこと

みんなでつくろう 差別のない明るい合志市

第11回 合志市人権教育研究大会

インターネットの普及は、私たちの生活を便利にする一方、人権に関わるさまざまな問題を引き起こしています。私たちの意識や社会のあり方について考えてみませんか。また、人権バンドの歌と語りで人権問題について学びましょう。

入場無料
手話通訳あり
託児あり

●とき 7月21日(土) 午前9時30分～正午
(受付 午前9時～)

●ところ 御代志市民センター講堂

●内容 【前半】
公益財団法人 反差別・人権研究所みえ
常務理事兼事務局長 松村 元樹さん
演題「インターネットと部落差別」

【後半】
人権バンド 願児我楽夢
演題「歌で奏でる、語りで繋げる
人権ハーモニー」

●託児 1歳～小学3年生
7月12日(木)までにお申し込みください。

●申し込み・問い合わせ先
人権啓発教育課(合志庁舎) ☎248-2399
主催/合志市人権教育推進協議会



松村元樹さんプロフィール
三重県伊賀市出身。インターネットによるあらゆる人権問題の他に、部落差別問題、いじめ問題、障がい者差別問題について全国で講演をはじめ調査・研究を行なっている。



願児我楽夢
プロフィール
北九州市のアマチュアバンド。日本各地で人権コンサート行ない、部落差別をはじめあらゆる人権問題をテーマとした楽曲を演奏。ギター、マンドリン、ベース、ブルースハーブの4人と手話通訳3人で構成。



人権よもやま話



人権擁護委員
桑原 典恵

5月、大好きなアイドルグループのライブツアーが始まりました。彼らにはそれぞれメンバーカラーがあつて、ファンは何かしらその色を身につけたりします。会場で振るペンライトは七色に変化。メンバーが近くに來るとその色をつけてライブを盛り上げますが、彼らにとって記念すべき年となったことは白一色でした。メンバー、応援してくれるファン、支えてくれるスタッフ、たくさんの人たちの色で染めたいという彼らの思いからです。ライブの最後に一人一人が述べた言葉は感謝の思いに溢れていました。

「人」という漢字は人と人が支えあっているとも言われます。実際には人の姿形が変化したものですが、そんな風に考えられることが人間のすてきなところ。一人では困難なことも誰かと一緒ならできることがあります。つらい時や苦しい時も、楽しい時や嬉しい時も、誰かと分かち合うことができます。その悲しみは半分に、喜びは倍になります。人とはなんと素晴らしい生き物でしょう。

家族だったり、学校の友達や、会社の同僚だったり、支えてくれる人は自分たちの周りにたくさんいます。みんな一人じゃない、そのことに気付いてほしい。ほんの少し勇気を出したら、今の世界が違ってきます。そしたら一人じゃないって当たり前のことに感謝できる。生まれてきたこと、生きていること、それがいかに素晴らしいことに感謝できる。

感謝の気持ち、思いやりの心を育み、一人一人が持つすてきな色を、みんなの色でさらに輝かせましょう、笑顔とともに。

⑤人権ふれあいセンター学習を通して考えたこと
をしつかり伝え、「人権が守られている学校にすることが私たち6年生の夢です」と締めくくりました。



県内の小中高校生ら約8千人の前で発表する合志小の児童たち

本市の子どもたちはそれぞれ現地に出かけ、そこで暮らしている人から、差別に負けない、差別を乗り越える生き方について話を聞くことを大事にしてきました。そして、自分の暮らしと重ねて考えることで、人権に関するさまざまな課題がより身近になっていきました。

これからも、人権が守られる学校づくりを推進していきます。

人権ふれあいセンター学習

合志小学校区には、人権学習の拠点となる施設、人権ふれあいセンターがあり、部落差別をはじめ、あらゆる差別をなくすための学習や交流活動を行っています。しかし、多

くの子どもたちは「人権ふれあいセンターで交流があつているのは知っていました」が、世の中をよりよくしたいという人々の願いがあつて建てられたことは初めて知りました。というように、人権ふれあいセンターがどんな施設なのか、どんな目的で作られたのかを知らませんでした。そこで、人権ふれあいセンターでの学習を昨年から全学年で行なっています。施設見学やセンター指導員の話が中心です。学年に応じて内容を工夫していただき、合志小学校の職員も、子どもたちと一緒に学んでいます。



「人権学習は、自分が元気になるためにあるのだと分かりました。学習をしないと差別に気付かない、差別されていることに気付かないと分かりました。自分だけでなく周りの人のためにもなると思いました」という子どもの感想がありました。人権学習はみんなを幸せにし、暮らしを豊かにしていきます。そして、子どもたちが夢を実現するための基盤になると考えています。